

複合性局所疼痛症候群(CRPS)において予後予測の指標となる因子に関する研究（患者さん及びご家族の方へ）

1. 研究の対象

2014年7月1日～2024年6月30日に岩手医科大学附属病院で複合性局所疼痛症候群（CRPS）の治療を受けた患者さん。

2. 研究期間

研究実施許可日～2025年12月31日まで

3. 研究目的・方法

本研究の目的は、複合性局所疼痛症候群（CRPS）において長期的な治療を要する原因について明らかにすることです。

CRPSとは、組織損傷後に創傷が治癒した後にも痛みが遷延する病態で、障害と不釣り合いな持続痛・アロディニア・痛覚過敏があり、痛み部位の浮腫・血流異常・発汗異常を認める時期がある症候群です。

日本ペインクリニック学会が提唱している「神経障害性疼痛の治療方針」にも提示されていますが、他の神経障害性疼痛と異なり神経障害性疼痛に効果があるといわれている薬剤や神経ブロックが効きにくいとされています。

CRPS患者さんにおいては「神経障害性疼痛の治療方針」でリハビリテーションを中心に治療を進めるべきとされていますが、早期のリハビリテーション介入により短期間で症状が寛解する患者さんがいる一方で、長期的な治療を要している患者さんも散見され、明らかな治療法がなく、今後の病状についての医学的な見通しが解明されていないのが現状です。本研究で長期的な治療を要する原因を明らかにすることで、患者さんの生活の質の向上に寄与し得る可能性があると考えます。本研究は、診療録からCRPS治療前後の情報（「4.研究に用いる情報」参照）を収集し、CRPSの治療が長期化する原因について解析及び分析を行います。

4. 研究に用いる情報

情報：性別、年齢、処方内容、治療内容、Numerical Rating Scale（以下、NRS）

NRSとは、被験者の痛みの程度を“0から10”の11段階に区別し、痛みが全くない状態を0、最もひどい痛みの状態を10としてそのレベルを点数化し把握する痛みの検査方法になります。

本研究で取得した上記の情報は、研究終了日から5年または結果公表日から3年（いずれか遅い日）まで保管し、その後適切に廃棄いたします。

なお、倫理審査委員会の審査・承認を経て、研究機関の長の実施許可を得た場合に限り、個人が特定できない形でデータを二次利用することがあります。その場合、岩手医科大学ホームページ（実施中の臨床研究に関する情報公開）に新たに計画・実施される研究に関する情報を公開し、お知らせいたします。

5. 研究費および利益相反

研究費は麻酔学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としません。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さん、または患者さんのご家族等の代諾者が本研究への参加について拒否できる機会を保障します。下記の連絡先までお申出ください。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局：畠山 知規
岩手医科大学附属病院 麻醉学講座 医局
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号
TEL：019-613-7111（内線2465）
FAX：019-907-7168
E-mail：nflerpro@iwate-med.ac.jp

研究責任者：鈴木 健二
岩手医科大学麻醉学講座 教授